

デザイン

応募点数	44点	招待作品	22点
入賞点数	7点	展示点数	66点
入選点数	37点	◎は移動展出品作品	

(総評) コンピュータで作業する事が当たり前になった昨今のデザインの作業環境において、原寸の画面に直接絵や文字を描き入れる、かつての日宣美を思わせるような手作業の痕跡をかたくなに残す島根県独自の制作姿勢に心動かされました。それは、決して他と似ない独自性を目指そうとする姿勢であり「表現すること」がもっとも大事だとするある意味、日本のグラフィックデザインの特徴が島根県に息づいていると感じました。しかし作品を一瞥し最初に感じたのは出品作品の少なさでした。島根には文化も観光資源もあり、デザインに関わっている人はもっといるはずだと思いますし、デザインという切り口を利用して地域を盛り上げようとする動きがもっとあるべきだと思います。(文責 松下 計/東京藝術大学美術学部教授)

知事賞 ◎ FROM SHIMANE TO THE WORLD 石崎祐太 (松江市)

赤一色を使って、オリジナリティーがあり計画性もあり、島根の文字をシャープに表現して技術力もあり、線を上手く使って画面いっぱい仕上げ、知事賞の評価に値する。

また夕陽の中に入っている「島根」、想像力を掻き立て、白い空間も上手く使い、手慣れたデザインで安心して鑑賞出来る。思わずスゴイ！と感じました。知事賞おめでとうございます。(文責 平江 透)

金賞 ◎ Story 水口弘幸 (益田市)

何年かぶりに絵を描こうと思い絵の具を買いにいくと、欲しい絵の具がお店になくて、取り寄せてもらった。店頭から実物がなくなったのは、ネット上で画材を注文するように社会が変化したからだろうか？

自分が学生だった二十年前は、店の方にいろいろ質問しながら、自分にあった画材を探したものだ。今の学生はどうやって画材を選んでいるのだろうか。ディスプレイ上で制作するために画材は必要ないのだろうか？

緑のモノトーンでまとめられている本作は、手仕事の楽しさに溢れている。貼ったり、塗ったり、点描したりと、細かな仕事を積み重ねられた画面からは、無心になって制作に没頭している、作者の喜びに満ちた姿が伝わってくる。

(文責 春日 謙一)

銀賞 ③

^た^か^ら
TAKARA

^{ほし}^の^{やす}^{のり}
星野泰範 (出雲市)

今年めでたく国宝に指定された、松江城をテーマにした作品です。

色数を、赤と黒、白、灰色にしぼって、うまくまとめています。松江城のシルエットを中心に、その上に月と太陽から広がる円を重ね、全体に、デザインされた文字を配して、とてもびやかな作品に仕上がっています。ただ、背景の赤いシルエットが、何を表現しているのか、疑問が残ります。

来年の作品では、もう一工夫、冒険してみたいかがでしょうか。

(文責 奥 美奈子)

銀賞 ③

^つ^ぼ^き
TSUBAKI

^{たに}^{ぐち}^{ゆき}^こ
谷口由希子 (松江市)

テーマ部門での出展における松江市の花「椿」を表現した作品である。使う色彩形状をミニマムに絞込み余白のスペースの必要性も考慮し、作者の感性によりシンプルな表現を探求し見極めた作品であるように感じられた。

椿という一般に代表的な既視感を保有した素材を用いた表現方法を、作者独自の計画構成感を注ぎ込みながら制作された様子を汲み取られることができる。やもすれば汎用な作品に行き着いてしまいそうなモチーフに果敢に取り組み、ひとつの個性を持った表現結果にたどり着いて作り上げた作品での受賞結果に繋がる評価になった。

今後も創作への意欲を保ちながら、制作へ向かう姿勢を期待しています。

(文責 柳楽 武臣)

銅賞 ③

^し^{はな}^み^さ
死んで花実が咲くものか

^{はら}^だ^{かよ}^こ
原田佳代子 (松江市)

謎めいた作品。

一見すると咲き誇っている様な花は、実は枯れた植物の寄せ集め。バランスよく枯れた植物を配置することで、寓意性が込められたトリックアートに仕上がっている。しかし、作者の意図が今ひとつ伝わってこない。

そこで文字を読んでみた。すると、文章の改行の仕方にスッキリしないものを感じる。なぜ1行目を、括弧を閉じるところで終わらないのか。そもそも枯れた植物をカラージュして、生花を表現することが逆説的ではないだろうか？

更に、作者が枯葉の花を鮮やかに見せるために、背景にくすんだグレーを対比配色させたことが、この作品を全体的にドローンとした雰囲気もつ、謎めいた個性的な作品にしている。

(文責 春日 謙一)

銅賞 ②

わたし せ かい
私の青界にし お だい ち
西尾大智 (出雲市)

「私の青界」の題名のとおり、青に関わる様々な物で構成されている。

ただし、これらの画像がオリジナルの場合は問題ないが、流用された画像であった場合、使用可能な画像かどうか調査が必要である。

音符を波に変化させたり、サファイアの文字を画面のバランスを崩さない程度に波の白さと交差している部分を白く浮き立たせるなど、構成力のうまさを感じる。

「私」という存在をアピールする上で、三つの要素であるSport、Music、Artの中で、Artを最も大きく強く強調しているところに、心にくい演出を感じる。

(文責 内田 京子)

銅賞 ③

おろち

いわ なり ひろ ゆき
岩成浩行 (松江市)

マーカーで描いたヤマタノオロチ。

画材特有の勢いある線が画面全体に緊張感と迫力を与えている。色数も赤と黒をメインに絞ったのはテーマの魅力を高めている。特に効果的なのがわずかに残っている余白の白である。その白が赤と黒を引き立てるのに成功している。

構図としては、オロチの顔を真正面から大きく表現し、人の目を引くように考えられていて、デザインとしての目的を果たしている。

今後、色々なテーマに挑戦していただきたい。これから大いに期待できる作家である。

(文責 近藤 隆)

入選

題名	氏名	備考
華心	佐藤由梨 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
宇宙人・神在祭に現る	田代和也 (奥出雲町)	
Star's start	吉岡さつき (安来市)	
ただいま、安来!	青戸千尋 (奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
一本の樹	深石直希 (雲南市)	
芽吹きを待つ	作野優衣 (奥出雲町)	
青い鳥	増原玲子 (出雲市)	
ひろがるひろがる、わたしの世界 (共同制作 クロッキー・千原優子 デザイン・大塚里恵)	大塚里恵/千原優子 (奥出雲町)	
聞かざる	奥田ちひろ (松江市)	
Let's go to Finland.	曾田和志 (出雲市)	
禁煙啓発ポスター	武田朋夏 (松江市)	
自然消滅人工「負」シゼン	石倉佳奈 (松江市)	
俺たちの戦い	和崎いぶき (出雲市)	島根デザイン連盟奨励賞
ささやかなクリスマス会の招待状	花田裕子 (雲南市)	
日本の心はトイレにあり	松永明浩 (出雲市)	

題名	氏名	備考
一夜の悪魔	後藤拓磨(雲南市)	
青空蒼海	寺本怜央(松江市)	
動植物生命線	中西莉帆(米子市)	
穴が開くほど	原田聖子(松江市)	
あなたの“ ^{ひとこと} ”が希望になる	平井花奈(出雲市)	
はばたき	来島杏美(松江市)	
パレイドリア	近藤 顕(安来市)	
思考の便秘	鷹金佑紀(松江市)	島根デザイン連盟奨励賞
俯	石井泰紀(松江市)	
流星	深田晶子(安来市)	
金剛界曼荼羅	岡 実智子(出雲市)	
◎ 彼女らは油を備えていなかった	板垣真奈美(出雲市)	県外審査員特別賞
つまった島根	笹木世梨奈(奥出雲町)	
おいしいがいっぱい	奥田 緑(奥出雲町)	
島根探し	吉部沙希(奥出雲町)	島根デザイン連盟奨励賞
みんなまってるよ!!	増原公夫(出雲市)	
刻	鳥谷怜加(雲南市)	
明るい日差しSHIMANE	有田圭宏(鳥取県)	
大国主命と鼠	眞秦優妃(奥出雲町)	
秋香の誉れ	野々村勝人(松江市)	
◎ 島根美人	長岡武志(出雲市)	県外審査員特別賞
受け継がれてきた松江城	小山真央(出雲市)	

招待

題名	氏名	備考
おとのかたち MATTHAEUS 2015	石野 眞(松江市)	
◎ GAHAN2015-08〈月と私と曲がり角と〉	寺尾 堂(益田市)	
ひまわりの憂鬱	奥原直夫(松江市)	
◎ PEACE	寺戸良信(松江市)	
イラストレーション	遠藤 毅(雲南市)	
◎ 残跡II	小原恭子(松江市)	
モコ・ハナ・藍ちゃんの夢飛行	内田京子(奥出雲町)	
◎ SUMMER	奥 美奈子(大田市)	
地面効果翼機 MA-0 7th	春日 謙一(松江市)	
Product Catalogue-3	狩野 順(松江市)	
Product Catalogue-4	狩野 順(松江市)	
これから始まる	近藤 隆(安来市)	
Nostalgia	錦織秀行(雲南市)	
Callingraphy	野々内政美(松江市)	
ロゴT-1 コクホー松江城	平江 透(松江市)	
ロゴT-2 YAHYAHYAH YASUGIBUSHI	平江 透(松江市)	

題名	氏名	備考
盃に映る松江城	増田竹男 (松江市)	
嗣ぐ	秋國紋子 (出雲市)	
MATSUE CASTLE	品川良樹 (松江市)	
⑧ Sunset	柳楽武臣 (出雲市)	
人刻	原真人 (雲南市)	
平和の花	山川房子 (安来市)	